

CAREER PATH

～キャリアパス～

まず2年間の霞が関勤務からスタートし、その後は地方での勤務も交えながら、政策の企画立案と執行をそれぞれ経験していきます。

財務局総合職は、霞が関や全国の財務局以外にも多様な勤務地を有しており、各職員は、自身の希望や家庭の事情などに合わせた、独自のキャリアパスを形成しています。



荻原 誠
財務省
理財局国庫課



松島 優里香
金融庁
総合政策局
総務課国際室



横山 祐希
福岡財務支局
経済調査課調査官



磯崎 聡
近畿財務局
理財部
金融証券検査官



中村 真琴
財務省理財局
計画官室 係長



埴 陸郎
金融庁
総合政策局
リスク分析総括課
健全性基準室 係長



松雄 翔平
関東財務局
横浜財務事務所
統括国有財産管理官



菅原 元気
財務省
国際局開発政策課
参事官室 課長補佐



當間 和幸
財務省
主計局主計官補佐



櫻山 順一
関東財務局
理財部金融監督官



村上 佳子
中国財務局
総務部 部長



木村 隆
金融庁
監督局総務課 課長

他省庁 地方自治体 留学 海外勤務

→P20-21



原 弘樹
熊本県水俣市
総務企画部 部長



坂本 晃一
内閣官房新しい地方経済・
生活環境創生本部事務局
兼内閣府地方創生推進室
参事官補佐



安積 尚史
外務省
在ニューヨーク
日本国総領事館 領事



田島 夏海
留学
(米・コロンビア大学)



成瀬 雄亮
東海財務局
理財部金融監督第一課
課長



浅野 智亮
金融庁企画市場局
総務課調査室・
保険企画室 課長補佐



松井 正太
金融庁監督局
銀行第二課
地域銀行モニタリング室
課長補佐



奥 愛
財務省国際局
国際機構課
資金移転対策室 室長



梅野 雄一郎
財務省理財局
国有財産調整課 課長

財務省理財局国庫課

新時代の通貨の在り方を模索する

皆さん、新しいお札はもう手にしましたか？

理財局国庫課は、通貨制度の企画立案に関する事務を所掌し、約20年ぶりに行われた新紙幣に関する業務もその一つです。そうした中、改めて日常生活を振り返ると、便利な民間決済手段の普及などにより、現金だけでなく、キャッシュレス決済を利用する方も増えてきているのではないのでしょうか。

ここで通貨の媒体に目を向けると、もともとは貝殻や石から始まり、時代が下るにつれて、現代では金属・紙が用いられています。近年、デジタル化がより一層進展する中、世界全体の流れとして「通貨も物理媒体ではなく、デジタル化できるのでは？」との考えが出てくるのはごく自然な流れでしょう。

私が所属するデジタル通貨係では、まさに「現金」をデジタル化する「CBDC(中央銀行デジタル通貨)」について調査・検討しています。現時点で、日本を含む主要国において、CBDCの発行は決定されていませんが、仮にCBDCが導入された場合に備えると、省庁の垣根を越えて様々な論点について議論を尽くす必要があります。その中で、私は関係府省庁・日本銀行とで構成する会議で使用するための資料作成のほか、諸外国におけるCBDCの検討状況の調査など、専門的な知見を日々深めながら業務を行っています。

我が国の経済取引の根幹を支える通貨の在り方は、国民生活に広く影響を与えます。だからこそ丁寧な検討が求められ責任感の重い業務ですが、新たな時代の通貨制度の在り方を模索する日々はとてもクリエイティブです。



荻原 誠 [2023年採用]
OGIHARA Makoto

2023年 財務省主計局法規課
2024年 現職

金融庁総合政策局総務課国際室

日本とアジアの連携のために



松島 優里香 [2023年採用]
MATSUSHIMA Yurika

2023年 財務省国際局国際機構課
2024年 現職

昨今、多くの日系金融機関が国際的に活動をしており、金融デジタル化、サステナブルファイナンスといった金融分野における新しい課題への注目も集まっています。そんな中、海外の金融当局との対話の活発化や連携強化はますます重要になっており、私が所属する国際室国際協力係では、アジア地域共通の課題について認識や情報の共有を行う「アジア・ハイレベル金融規制当局者フォーラム」や、二国間金融協力の会議等を通じて、特にアジア諸国の金融当局との連携強化に努めています。

私個人としても、金融庁内の他部署とも連携しながら、フォーラム運営や二国間協議の資料作成等に携わりました。各会議では、銀行・証券・保険等のさまざまな分野の国際的論点が扱われるため、各論点や国内の施策について一定の理解が求められ、勉強は大変ですが、当日実際に目の前で国際的な議論が交わされる場に立ち会ったときは、自身の業務の重要性を認識し達成感を感じました。

財務局総合職では、自らの成長につながる多様な機会を得ることができます。私自身、経験豊富な同僚・上司の助けも得ながらさまざまな業務に取り組む中で、日々成長を実感しています。ご関心を持っていただけたなら、ぜひ門戸をたたいていただければ幸いです。

福岡財務支局経済調査課 調査官

地域経済の実態を国へ届ける

経済調査課では、管内企業への統計調査やヒアリングを通じて、地域経済の動向を的確に把握・分析し、その結果を定期的に公表しています。四半期ごとに開催される全国財務局長会議では、各地域の経済情勢にくわえ、人手不足や生産性向上などの課題に向けた特徴的な企業の取組事例等を報告しております。

国内外の経済情勢・金融市場の不確実性や経済社会の構造的な変化への対応など、地域企業を取り巻く環境は刻々と変化している中、地域や業種、規模によって企業の抱える課題は様々であり、経済指標だけでは正確に経済の実態を捉えることは困難となっております。

そこで、ヒアリングにおいて、実際に企業へ訪問し、財務状況の変化や課題を丁寧に伺うことで、地域経済の景気観や課題の解像度を高めることに努めております。

このように、深度ある調査・分析を通じて、地域経済の実態を本省に報告し、より実のある政策立案の実現に貢献することは、まさに国と地方をつなぐ重要な役割を担っていると感じております。

財務局総合職は、国内外問わず活躍できるフィールドの広さと政策の立案・執行に携われる業務内容の質の深さが魅力であり、私自身も財務省、金融庁、財務局での業務経験を通じて、行政官として成長できる環境が揃っていると実感しております。

好奇心旺盛で志の高い皆さんと、一緒に働くことを楽しみにしております。



横山 祐希 [2020年採用]
YOKOYAMA Yuki

2020年 財務省理財局財政投融资総括課
2021年 金融庁総合政策局リスク分析総括課
2022年 金融庁監督局銀行第二課
地域金融生産性向上支援室 係長
2023年 金融庁総合政策局総合政策課 係長
2024年 現職

近畿財務局理財部 金融証券検査官

地域金融機関のあり方を考える



磯崎 聡 [2021年採用]
ISOZAKI Satoshi

2021年 財務省主計局法規課
2022年 財務省理財局国債企画課
2023年 財務省国際局開発政策課参事官室
係長
2024年 現職

人口減少・高齢化が進む地域社会の持続的な成長に貢献するため、地域金融機関によるさらなる金融仲介機能の発揮と事業者支援の強化が期待されています。金融庁・財務局も地域金融機関の検査・監督等を通じていっそうその後押しをしていく必要があります。

そうした中、私は現在、近畿財務局において、金融証券検査官として管内の地域金融機関の検査に従事しています。金融検査は、各種リスク管理態勢、法令等遵守態勢、事業者の経営改善や本業に対する支援の状況など、論点が多岐にわたりますが、地域金融機関の経営の健全性を確保するとともに、地域金融機関が現状いかに金融仲介機能を発揮し、地域経済に貢献しているかを具体的に把握するという点で重要な業務です。個人としても、金融機関の担当者対話し、肌感覚を持って融資や事業者支援の実態を知ることができるのは、将来的に金融行政の企画立案に役立てるといった観点からも貴重な機会と感じています。

財務局総合職の魅力は、財政・金融というスペシャリティと、地域貢献という取り組みがいのある具体的なテーマが与えられていること、そして上記のような地方での業務はもちろんのこと、国内外で幅広い経験を積むことができる点にあると思います。地域経済の再編をリードし、地域社会へ貢献することに興味がある方、好奇心旺盛で、様々な環境で新たな知見を得ることに意欲的な方とともに働くことを楽しみにしています。

財務省理財局計画官室 係長

財政融資を通じて地方に貢献する

財政投融資は、税財源に依らず、財投債の発行によって調達した資金などを原資とする、国による投融資活動です。私は地方公共団体向けの財政融資を担当しています。

地方公共団体が行う事業のうち、災害復旧事業や過疎対策事業のような国が責任を持って対応すべき分野などについては、長期・低利である財政融資が活用されています。その在り方を検討するにあたっては、財政投融資全体や地方財政の動向といったマクロの視点はもちろん、実際にどのような施設で活用されているのか、財務局・財務事務所等においてどのような運用がされているのかといったミクロの視点が不可欠です。そうした多角的な視点が必要である中で、自分の知見不足を痛感しない日はありませんが、上司・同僚の助けも得ながら、何を実現できるのか考えながら日々の業務に取り組んでいます。現場を含めたバランス感覚のある行政官を目指して今後も努力していきたいですし、それをキャリアパスから後押ししてくれるのが財務局総合職であると思います。

財政融資を通じた、自分の故郷のみならず全国各地で行われる事業の土台を支える業務にやりがいを感じます。国・地方に貢献するという想いをもち働いている財務局総合職職員の話、ぜひ直接聞いてみませんか。皆さまにお会いできる日を楽しみにしています。



中村 真琴 [2020年採用]
NAKAMURA Makoto

2020年 財務省大臣官房政策金融課
2021年 財務省大臣官房総合政策課
2022年 九州財務局総務部経済調査課
調査官
2023年 財務省主税局総務課広報係長
2024年 現職

金融庁総合政策局リスク分析総括課健全性基準室 係長

バーゼル規制とは？～金融システムの安定のために～



埴 陸郎 [2019年採用]
HANAWA Rikuro

2019年 財務省主計局主計企画官付
調整係
2020年 財務省主計局調査課
2021年 北海道財務局理財部金融監督第一課
調査官
2022年 内閣府政策統括官付参事官付
政策企画専門職
2024年 現職

バーゼル規制とは、バーゼル銀行監督委員会が公表している、自己資本比率規制等に関する国際統一基準のことです。

国際的に活動する金融機関に対して、リスクに備えた自己資本や流動資産の確保等を義務付けることで、金融機関の健全性を維持し、経営破綻などを未然に防止しています。

健全性基準室は、この国際基準を踏まえ、国内規制を策定し、それに基づいて金融機関の審査やヒアリングを実施し、金融機関の健全性をモニタリングしています。

金融のグローバル化や国際競争が加速していく中で、金融機関の業務は複雑化・高度化しているため、我々のモニタリング方法も工夫していく必要があります。専門性の高い内容と格闘する毎日ですが、ただ数字を眺めるだけではなく、審査やモニタリングの中で直接金融機関の方々との対話し、金融環境の変化や現場の悩みを肌で感じることができるのは貴重な経験です。

こうした日頃の業務を通じて、金融システムの安定の一端に携わることができているのは、責任を感じるとともに、やりがいでもあります。財務省財務局の業務に興味を持ってくださった皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

関東財務局横浜財務事務所 統括国有財産管理官

返還財産を地元の活性化に～初の管財業務／チームの力～

皆さんはネモフィラが有名なひたち海浜公園に行ったことがありますか？昔は米軍の軍用地だったことをご存じだったでしょうか。

私は神奈川県内にある米軍の提供／返還財産を担当しています。特に、米軍から返還された財産の跡地利用を地元自治体と日々協議していますが、元々軍用地だったこともあり規模が大きく、ポテンシャルは未知数です。例えば、旧上瀬谷通信施設は、「GREEN×EXPO 2027」として国際園芸博覧会が開催される予定です。こうした歴史ある大規模な財産を担当し、地元の活性化につなげる業務は非常にダイナミックだなと感じています。

初めて財務事務所に出向し、初めて管理職を務め、初めて管財分野を経験しています。未経験分野の管理職を務めることは苦難の連続ですが、管財を長らく支えてきた先輩らにいろはを教わり、若手たちと共に成長し、チームの力を日々感じています。年齢や採用は違えどまさにワンチーム。国と地域をつなぐ最前線で皆さんも自分の想いを共有したチームと一丸になって地域のために全力で働いてみませんか。



松雄 翔平 [2018年採用]
MATSUO Shohei

2020年 東海財務局総務部経済調査課
調査官
2021年 金融庁企画市場局総務課 係長
2022年 財務省大臣官房政策金融課 係長
2023年 財務省大臣官房地方課 係長
2024年 現職

東海財務局理財部金融監督第一課 課長

地域銀行の監督



成瀬 雄亮 [2007年採用]
NARUSE Yusuke

2016年 国際通貨基金(IMF)理事補
2019年 財務省理財局国債企画課
課長補佐
2020年 財務省理財局国有財産企画課
課長補佐
2022年 財務省大臣官房地方課 課長補佐
2024年 現職

金融監督第一課は、地域銀行の監督を主な業務としています。

地域銀行との対話を通じ、人口減少や少子高齢化など地域経済を取り巻く厳しい環境の中でも、融資や顧客の経営課題解決の支援等により、地域から求められる金融仲介機能を発揮するとともに、自身の持続可能なビジネスモデルを構築することを促しています。金融庁の監督に関する方針も改正されていますが、地域銀行が主旨に沿う取組を行っているかなどを確認します。金融庁の方針や様々な施策を理解するため、日頃から勉強が必要とされ大変ですが、社会的な課題への対処に少しでも貢献できたらと思い業務に励んでいます。

加えて、国内外の経済・金融市場の動向が地域銀行に与える影響を注視し、地域銀行の経営管理やリスク管理態勢について随時確認しています。例えば、金利ある世界への移行による地域銀行の経営・事業者への影響や対応状況について、地域銀行の取組み等を確認しています。こうしたマクロの動きが地域にどう影響するかを肌で感じられる点は、この仕事の醍醐味ではないかと思います。

地域銀行との対話においては、金融行政・市場の動向や各行の経営・財務の特徴等も踏まえ、どのような質問項目を立てるのがよいか、各行の取組を聞き出すにはどのような内容を投げかけられるのがよいか考えるよう努めています。深度ある対話を行うための準備には苦労しますが、情報を収集し論点を整理する業務にもやりがいを感じます。

このように金融庁の施策を現場で執行し浸透を図るとともに、聞かれた声をフィードバックし中央での企画立案に活用してもらうよう、業務に取り組んでいます。

財務省国際局開発政策課参事官室 課長補佐

色々な「現場」

「円借款」をご存じですか?円借款とは、開発途上国に対して低利・長期の資金を貸し付けることです。私は、円借款を通じた様々なプロジェクトの支援を担当しています。例えば、南アジアのA国のトンネル事業を進める一方、中東のB国の民間セクター活性化について関係者と議論し、同時に、東南アジアのC国の上水道事業を検討する等、毎日がダイナミックです。

さて、こうした事業を考える際、何がポイントになるでしょうか?答えは一つじゃないです。開発効果はもちろん重要ですが、被支援国の債務の持続可能性等も考慮すべきです。当国の政治情勢や我が国への裨益も大切な要素でしょう。

こうした要素を総合的に判断するためには、色々な人の話を聞き、可能な限り自分の目で情報を集めることが重要です。ある案件を検討するために、出張に行く機会がありましたが、机上の入念な事前調査も一回の現場体験には勝てないことを思い知りました。

私は、島根県での国有財産業務といった地域行政の最前線から現在のような国際的な分野まで、多様な経験をしましたが、こうした現場の大切さは共通している気がします。私にとっての財務局総合職の最大の魅力は、「現場」という軸を持ちつつ幅広い経験ができることです。

菅原 元氣 [2015年採用]
SUGAWARA Genki

2019年 関東財務局理財部金融証券検査官
2020年 財務省大臣官房政策金融課 係長
2021年 中国財務局松江財務事務所 課長
2022年 留学(米・ミシガン大学)
2024年 現職

金融庁企画市場局総務課調査室・保険企画室 課長補佐

保険市場の信頼回復に向けて

浅野 智亮 [2016年採用]
ASANO Tomoaki

2019年 中国財務局総務部経済調査課
調査官
2020年 財務省主税局総務課 係長
2021年 財務省大臣官房地方課 係長
2022年 個人情報保護委員会事務局
参事官補佐
2024年 現職

「とある自動車ディーラーで、ゴルフボールを靴下に入れて振り回すなど意図的に車を傷つけることで、保険会社に対する保険金の水増し請求が行われていた」このようなニュースが世間を騒がせたことをご存じでしょうか。損害保険業界では、保険代理店による保険金不正請求事案や、大手損害保険会社による保険料調整行為事案といった度重なる不祥事が発生し、国民からの信頼が大きく損なわれました。

こうした不祥事の発生を踏まえ、私が所属する金融庁企画市場局では、保険市場の信頼回復に向けて必要な制度の見直しを検討しています。損害保険業界で二度と同じようなことが起こらないよう、保険会社や保険代理店に対する体制整備義務の強化を検討する一方で、行き過ぎた規制は過度な負担となり、ひいては保険を契約する国民や企業に不利益をもたらす可能性があるため、様々なステークホルダーの意見を聴きながら実効性のある制度を目指さなければなりません。そのための調整は困難を極めますが、その分やりがいも大きく、これが政策の企画立案の醍醐味でもあります。

財務局総合職は、本省庁で政策の企画立案に携わる機会も多くありますが、財務局などの現場での経験に基づいた、実効性のある政策を提案できることが強みだと考えています。よりよい政策の実現に向けて、高い志を持った皆さんの挑戦をお待ちしています。

財務省主計局主計官補佐(農林水産第二係主査)

「まず無駄をなくせ」は正しいか

私は今、財務省主計局で、林野庁・水産庁の予算を査定する仕事を担っており、国のお金(税金+借金)のより良い使い道を日々追及しています。

世の中でお金を節約する時には、「まず無駄をなくせ」と言われますが、国で実施されている事業の中で、無駄と断言できる「明白な無駄」はまず存在せず、無駄があったとしても当事者や該当地域にはプラスなものの、国全体で見るとマイナスになる「相対的な無駄」に該当し得る事業です。

私は、担当している林野庁・水産庁と一緒に、林業政策や水産政策に対する予算措置が、現場の人々の生活をプラスにしつつ、「相対的な無駄」にならず、国全体でもプラスになるためには、どのように予算措置するのがベストなのかを常に議論しています。

日々の議論の中で互いの意見が衝突することもよくあるだけでなく、結果として、政策の中身が変わることもあり、たくさんの関係者に影響を与えるプレッシャーのかかる仕事ですが、同時に強いやりがいも感じています。

財務局総合職は、私が今担当している仕事だけではなく、財務省や金融庁の様々なフィールドで幅広い活躍の場が得られるので、興味のある皆様と一緒に働けることを楽しみにしております。

當間 和幸 [2008年採用]
TOMA Kazuyuki

2019年 外務省在メキシコ日本国大使館
一等書記官
2021年 財務省理財局国有財産業務課
国有財産審理室 課長補佐
2022年 財務省理財局国有財産業務課
課長補佐
2023年 財務省主計局調査課兼司計課
課長補佐
2024年 現職

金融庁監督局銀行第二課地域銀行モニタリング室 課長補佐

地域銀行の経営に潜むリスクを紐解く

松井 正太 [2010年採用]
MATSUI Shota

2017年 留学(米・カリフォルニア大学
サンディエゴ校、米・コロンビア大学)
2019年 財務省大臣官房総合政策課課長補佐
兼経済動向調査官
2021年 金融庁監督局銀行第二課 課長補佐
2023年 金融庁監督局総務課監査調査室
課長補佐
2024年 現職

私の部署では、地域銀行の経営状況に関するモニタリングを行い、仮に財務の健全性やリスク管理に問題がみられる場合は、早期改善を促しています。そうした中、私の役割は全国に所在する地域銀行に関して、立入検査を含むモニタリング計画の企画立案を行うことです。

皆さんは、「検査」と聞くと、強面の検査官が銀行へ厳しく指導するイメージを持たれるかもしれませんが、確かに、時には厳しい対応が求められる場面もありますが、そうした中でも、検査官は、地域銀行と双方向の対話を行い、相手の納得感を得た上で改善を促しています。

我々がこうした検査・モニタリングを実施する理由は、地域銀行が、地域にとって重要な社会インフラであり、彼らが地域経済を支え共に発展していくためには、将来に亘る健全性の確保と適切なリスク管理が必要不可欠だからです。私自身、過去には財務局で地域銀行等への立入検査の現場を経験してきました。そして、現在は財務局での経験も活かしつつ、金融庁において地域銀行の健全性を揺るがす新たなリスクが潜んでないか目を光らせ、高度化・複雑化する現代の金融システムに適した地域銀行モニタリングの在り方を日々模索しています。

「金融行政を通じて地域経済に貢献したい!」と思われる方は、ぜひ財務局総合職の門を叩いてください。私も志を共にする皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

関東財務局理財部金融監督官

財務局総合職のキャリアパスから見える金融監督

財務局総合職は地方財務局の幹部候補を採用するための区分ですが、若手の間は財務省や金融庁といった中央での勤務が殆どです。私もその例で、金融庁での10年超の勤務の後、現在は関東局に3人いる金融監督官の一人として、管内に登録するノンバンク業者の監督を担当しています。

「中央」と「地方」、仕事の性質で言うと「全体・全国性」と「個別・地域性」の両方に従事した今、自分なりに金融監督という仕事を考えると、その本質は道路や水道の管理と同じく、社会インフラの管理であると思うようになりました。「決済」や「信用」という金融インフラについては、それ自体がビジネスであり、本来的に個別・地域性があるということが特徴の一つでしょうか。

インフラの管理者が能力不足であることほど社会にとって迷惑なことはありません。この仕事を続ける場合、精通しておくべき対象に不足することはなく、新たな担当を得る度、関係法令は勿論、基礎となるファイナンスや会計の仕組み、業界動向を把握することが必須となります。部署によっては英語で業務を行うことも求められます。恐れずともトレーニングの機会は豊富に用意されています。「修養に終わりはない」ことに同意できる方であれば、社会奉仕と自己成長の両方を感じつつ、楽しく仕事をしていくことができるのではないのでしょうか。



榎山 順一 [2003年採用]
KASHIYAMA Junichi

2019年	金融庁証券取引等監視委員会事務局 開示検査課 課長補佐
2020年	金融庁監督局銀行第一課 課長補佐
2021年	金融庁総合政策局総務課 国際協力調整官
2023年 2024年	関東財務局理財部金融総括課 課長 現職

財務省国際局国際機構課資金移転対策室 室長

27年前の私、今の私



奥 愛 [1998年採用]
OKU Ai

2017年	財務総合政策研究所総務研究部 総括主任研究官
2021年	関東財務局総務部総務課 課長
2022年	関東財務局東京財務事務所 次長
2023年	関東財務局理財部金融監督官
2024年	現職

27年前の初夏。就職氷河期時代だったこともあり、自分の将来に対する漠然とした不安を抱えながら、財務省内の会議室で面接を受けていました。そして、今、私は、財務省の国際局資金移転対策室において、政府全体のマネー・ローンダリング（マネロン）などの対策を推進する仕事をしています。学生だった当時の私が聞いたら、さぞ驚くことでしょう。

マネロンとは、犯罪収益を出所が分からないようにして捜査機関から逃れようとする行為を指しますが、こうした資金が、将来の犯罪やテロの発生、ひいては健全な事業活動等の阻害につながりかねず、対策が必要です。私たちは、多国間枠組みのFATF（Financial Action Task Force（金融活動作業部会））の基準に沿って、警察庁や法務省、金融庁をはじめ、数多くの関係省庁と連携しながら、日本のマネロン等対策を推進しています。

働き始めたばかりの私は、友人達から仕事の話を聞く度、みんながキラキラして見え、自分に自信を持てずにいました。しかし、地道にコツコツ働き続け、念願だった米国留学・勤務も経験し、働きながら博士号（経済学）を取得しました。今でも仕事は一大事で必死なのですが、家庭内でも3人の子どもの成長に向き合いつつ、財務局総合職として、私らしい歩みを焦らず進めています。

中国財務局総務部 部長

財務局の円滑な運営と機能発揮に向けて

私は現在、中国財務局の総務部長を務めています。総務部は、総務、人事・研修、会計、庁舎管理、経済調査、広報などを担当しています。当局全体を見渡して、組織の円滑な運営や機能発揮に向けて、組織マネジメントをしていくことも重要であり、総務部の皆さんと一緒に取り組んでいます。主に重視しているのは、次の3点です。

まず、組織方針・情報の共有です。本局各部門と財務事務所・出張所も含めて組織を一体感をもって運営できるよう、業務運営の重点事項や取組方針について「事務運営方針」を定めているほか、リモート方式を含む各種会議やイントラネット等を活用して、各部所における取組状況などについて情報共有を図っています。

次に、風通しがよく働きやすい職場環境作りです。日頃から互いに話しやすく相談しやすい雰囲気作りをしておくことが重要ですが、コミュニケーションの充実のため、局長・部長など幹部職員と若手・中堅職員との意見交換の機会なども設けています。また、ワーク・ライフ・バランスの推進にも取り組んでいます。

3点目は、地域連携の取組です。財務局は、国の機関であるとともに地域に根差した存在として、財務省・金融庁の施策を実施するという役割を果たしつつ、地域のために貢献していくことが重要です。地域の課題やニーズを踏まえ、地元の関係者の方々とも連携しながら対応していく取組を「地域連携」と呼び、全国の財務局で推進しているところですが。当局では、地域経済活性化本部と4つのチーム（自治体支援、事業者支援、成長戦略、街づくり）を設けて取組を推進しています。各チームの活動はイントラネット等で共有されており、地方自治体や金融機関等との連携の場で活躍している若手職員の姿などを見ると、とても心強く感じます。

なお、私自身の経歴を振り返ると、本省庁では、財務省主計局や金融庁監督



村上 佳子 [1991年採用]
MURAKAMI Yoshiko

2014年	関東財務局理財部金融監督官
2016年	福岡財務支局管財部 部長
2017年	中国財務局理財部 部長
2019年	独立行政法人造幣局監事
2023年	現職

局などで国の財政や金融行政に関わる仕事を経験し、また、財務局では、総務課長や理財部の部次長職、管財部長などを務めており、これらの経験は、現在、総務部長として財務局のマネジメント等を行うに当たって本当に役に立っていると感じます。

このように、財務局総合職は、国と地

方双方の視点を持ちつつ、霞が関の本省庁で国の政策の企画立案に携わるとともに、各地の財務局で地域に貢献する仕事にも携わることができます。ご関心をお持ち下さった方には、ぜひ一度、門戸を叩いていただければと思います。



国有財産の最適利用に向けて

国有財産行政の醍醐味は、地域貢献に直接携わることができ、また、自分が手掛けた仕事の成果を直接感じとれることにあります。また、国家公務員が能率よく働き、国民の皆様に貢献できる環境を構築することも重要な役割です。こうした取組事例について紹介します。

公務員宿舍の新規建設

平成23年の宿舍削減計画により順次削減が進み、宿舍建設は抑制されたこともあり、老朽化が著しく進行しています。併せて地域ごとの需給ミスマッチが生じ、特に東京23区内の宿舍が不足しており、その中でも独身・単身者用が不足しているという課題があります。

財源には限りがあり全てを建て替えることはできませんので、リノベーションを実施し居住性を向上していますが、宿舍不足が著しい東京23区を中心に新規建設を進めています。「人材確保の観点から計画的に整備すべき」「待遇改善や働き方改革の観点から欠かせない」との声も寄せられており、特に若手職員に配慮した宿舍建設を着実に進めています。

政策ツールとしての 行政財産の有効活用

国の庁舎・宿舍は地域に根差した財産であり、空きスペースを民間事業者の有償使用してもらう取組を進めています。これまでは自動販売機や売店等にとどまっていたましたが、政策ツールとして積極的に有効活用を図っていく方向に舵を切っています。例えば、庁舎の駐車場を時間貸駐車場事業者に使用してもらうことで、かなりの収益を生み出しており、併せて、電気自動車の充電器も併設されていますので、財政貢献だけでなく、脱炭素に向けた電気自動車の普及にも資する取組になっています。その他、シェアサイクルやカーシェアリング、5G基地局といった用途でも実績があがっており、地域貢献に資する取組を進めています。



梅野 雄一郎 [1995年採用]
UMENO Yuichiro

2017年 財務省大臣官房地方課 人事調整企画室長
2020年 関東財務局管財第二部 部長
2021年 財務省理財局国有財産業務課国有財産審理室 室長
2022年 財務省理財局国有財産業務課 課長
2023年 現職

その他、人口減少や高齢化の進展により、令和5年に始まった相続土地国庫帰属制度により引き受けた財産や相続人不存在として民法上国庫帰属された財産が増えていますが、これらの財産は処分が難しい不動産ばかりです。所有者として管理していくことが求められますが、これは財務局でしかできない仕事ですし、また、地域貢献に役立てることができるポテンシャルを持った財産が眠っている可



性もあり、地域との対話も含めてチャレンジな取組が期待されます。

国有財産行政の最前線は「現場(財務局)」であり、地域と顔の見える距離感で仕事をすることに大きな魅力があります。財務局総合職は現場経験がキャリアパスに組み込まれており、やりがいがあることは間違いありません。志高い皆様とお会いできることを楽しみにしています。



地域金融機関の事業者支援

金融庁監督局は財務局とともに様々な金融機関などを監督しています。メガバンク、証券会社、保険会社など皆さんにも馴染みの深いところも数多く監督しています。その中で地域金融関係に関する最近の動きをいくつか紹介します。

地域金融機関による 企業のM&A支援

金融庁は昨年10月に金融機関の監督指針を改正して、地域金融機関が取引先へのコンサルティング機能を発揮し、M&A支援に積極的に取り組むことを促しています。金融機関がなぜ企業のM&A支援を行うのかと思う方もいらっしゃると思います。伝統的な預金・貸出金というビジネスもちろん重要です。その中で、今地域の企業が直面している課題が、人手不足や物価高への対応など複雑かつ多岐にわたっています。地域金融機関が地域経済の要として、M&A支援をはじめとする投資銀行的なビジネスを行うことは非常に大事になっており、こうした動きを促しているのです。

レビキャリア:地域企業経営人材 マッチング促進事業

地域の中堅・中小企業が抱える課題の一つは「経営人材の不足」です。金融庁が、2021年にこの問題の解消に向けて立ち上げたのが、新しい形の人材プラットフォーム「REVICareer (レビキャリア)」です。地域経済活性化支援機構(REVIC)を通じて、地域金融機関の人材仲介機能を強化し、転籍や兼業・副業、出向といった様々な形を通じて、大企業から中堅・中小企業 (ベンチャー企業を含む)



木村 隆 [1993年採用]
KIMURA Takashi

2017年 財務省理財局国有財産業務課 国有財産審理室長
2019年 財務省理財局国有財産業務課 課長
2021年 財務省理財局国有財産調整課 課長
2023年 関東財務局東京財務事務所 所長
2024年 現職

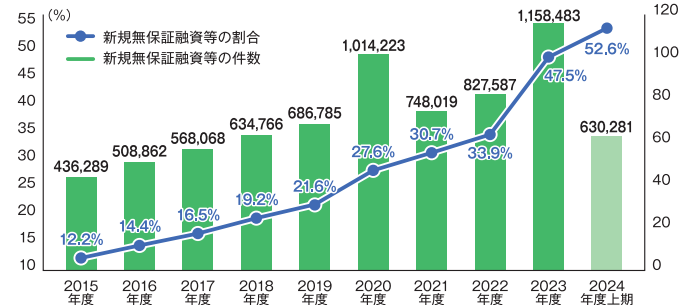
への人の流れを創出し、大企業で経験を積まれた方々の各地域における活躍を後押ししています。成約件数も年々増えており、中堅クラスの兼業・副業、出向を通じて、将来の幹部人材として経営に関わる貴重な経験にする、あるいはシニア世代の方の転籍を通じて、人生100年時代に必要性の高まるセカンドキャリアの獲得機会にしてもらうなど様々な形で成果が上がっています。今後も引き続き、中堅企業・中小企業が抱える経営人材不足の課題解決を加速化するため、本事業を実施していきます。

経営者保証改革

個人保証、経営者保証という言葉 皆さん聞いたことがあると思います。経営者保証は、経営の規律付けや信用補完として資金調達の円滑化に寄与する面がある一方で、

スタートアップの創業や経営者による思い切った事業展開を躊躇させる、また、円滑な事業承継や早期の事業再生を阻害する要因となっているなど、課題も存在します。このため金融庁は、経営者保証に依存しない融資慣行の確立を目指しており、関係省庁とともに様々な取組を行っています。皆さん金融機関の監督と聞いて、以上のような取組はあまり想像していないのではないかと思います。世の中が変わり、地域経済も変化していく中で、地域の金融機関のあるべき姿も変わっていくと思います。その中で、常に金融監督行政はどうあるべきかを考えていくことが大事であり、金融庁や財務局はそうしたチャレンジ的な課題に向き合えるとてもやりがいのある職場だと思います。

新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合の推移



(注1) 2024年度上期の新規融資件数のうち、「無保証融資件数」と「有保証で適切な説明を行い記録した件数」の合計割合は98.8%
(注2) 2024年度上期の法人に対する新規融資候補のうちの「法人に無保証で融資した件数」の割合は46.5%

地域企業経営人材マッチング促進事業



(出典: 地域経済活性化支援機構HPより)

CROSS TALK

～財務局長特別対談～



九州財務局長

倉林 健二

[1989年採用]

KURABAYASHI Kenji

■財務局が果たす役割

加藤北海道財務局長：

財務局は、財務省の出先機関として、予算執行調査や国有財産の有効活用、また、金融庁から委任を受け、金融機関に対する検査・監督を実施しています。国として、「地方こそ成長の主役」と掲げる中、全国47都道府県に事務所・出張所を構える財務局の重要性が益々高まってきていると感じます。地域に根差した組織だからこそ、地域に真摯に向き合い、国と地域の橋渡しの役割を担っていく、これが、財務局が果たすべき役割だと思います。

■財務局だからこそ出来る地域貢献

倉林九州財務局長：

地方公共団体、大学と地域の教育関係者との「つなぎ」役

私はこれまで地域と関わりのある仕事

を多く経験する中で、以前、勤務した関東財務局では、公的施設の効率的な再編・最適化を行う「エリアマネジメント」を一層推進するため、地方公共団体や政府系金融機関などとの意見交換の場を設けるなどしました。

また、九州財務局でも、名瀬出張所が奄美群島における地域との連携を模索していた東京大学の研究所の来島にあわせ、島内教育関係者や地元ラジオ局等との意見交換の場を設け、橋渡しの役割を担いました。その後、同大学の研究所と地元高校との連携が進み、群島内の全高校が参画する「奄美群島高校探究コンソーシアム」が設立され、キックオフとして「高校生サミットin奄美」が開催されました。

微力ながらも、財務局の様々なネットワークを活用し地域に貢献できた事例かと思えます。

加藤北海道財務局長：

霞が関と道内事業者との「つなぎ」役

北海道の成長分野は様々ありますが、昨年、北海道と札幌市が政府の「金融・資産運用特区」に指定されたことにより、銀行のGX事業への出資規制が緩和され、新たな経済活性化のチャンスの特徴フェーズに入っています。

再生可能エネルギー事業の成長と投資の促進を同時に達成することが成功の鍵であり、道内の事業者や金融機関の要望を聞き、金融庁や関係省庁につなぐパイプ役の役割を果たしていくと同時



に、道内の事業者をしっかりサポートしていきます。これまで金融行政の経験が長い私に期待されている役割は明確だと感じています。

■財務局職員としての心構え

倉林九州財務局長：

財務局の主な仕事の一つは国の施策を地域で着実に実施すること、もう一つは地域の声を吸い上げて国の政策立案に反映することです。そのために重要なのは、いかに財務局が地域から信頼される組織になるかということ。地域の方の



北海道財務局長

加藤 博紀

[1990年採用]

KATO Hiroki

目線に立たずに、正しいと思うことだけを主張しても伝わりません。相手方の事情を理解することが大切です。地域の中に存在する財務局だからこそ、職員一人一人がそのような自覚を持って仕事に向かう組織でありたいと思います。

■最後に、財務局総合職を目指す学生へのメッセージをください

倉林九州財務局長：

一つの物事をマクロとミクロの両方の視点から考えてみることはとても大切です。財務局総合職には、国全体を支える制度設計（マクロ）に関わるとともに、行政の現場（ミクロ）では地域の方の思いや実情に触れる機会が豊富にあります。幅広い経験ができるところに魅力があります。マクロとミクロのつながりや、世の中の役に立っていると実感できることが私の仕事の原動力になっています。また、幹部候補生として様々な役割、責

任あるポジションを経験することとなりますが、その責任を負うことで見える景色、広がる世界があるのではないかと思います。何事もチャンスはつかむものです。是非チャレンジしてみてください。

加藤北海道財務局長：

振り返ると、メガバンクの主任検査官として銀行に常駐したり、地銀や信金を巡り対話するなど、金融行政を軸に楽しくやりがいのある経験をしてきました。また、ミラノで貿易の仕事、直前は年金・医療分野にも携わりました。このように財務局総合職は、活躍のフィールドは広く、各人がオンリーワンのキャリアパスを持っていると言えます。「自分の軸」となる分野で「プロフェッショナリズム」を磨き、幅広い見識を深めながら、自分自身の成長を社会貢献に繋げていけることが魅力だと思います。

熊本県水俣市総務企画部 部長

地域の声をカタチにする仕事

水俣市は人口約2万人、東京23区で一番人口の少ない千代田区の1/3ほどの町です。私が在籍する総務企画部は、市長公室（秘書・広報・総合調整）、予算、人事、総務、地域振興、防災、税務などを担当します。また、災害対応や市議会での答弁、国への要望活動、選挙事務など、「ザ・市役所」と言える仕事にも携わります。さらに、市政のあらゆる情報や、地元警察・消防からの情報も入ってきます。独自の動きとして、九州財務局やスタンフォード大学など、国で培ったパイプを活かし、地域の情報発信や魅力向上のために新たな取り組みも手掛けました。

一方、目に見える大きな事業ではありません。市民生活に寄り添い、日々の課題解決を図る地道な仕事も多いです。地方あるある、市民との距離が近いです。消防団や自治会、国際交流協会等の各種団体に加え、各種イベントにも顔を出し、幅広い世代の方々との触れ合いの機会を作るようにしています。市が目指す将来像『みんなが幸せを感じ 笑顔あふれる元気なまち 水俣』を描きながら、市民の声をどのように政策に反映させるか。市役所横の居酒屋「丸八」（通称：第八会議室）で今宵も同僚の熱い思いに耳を傾けるのです。

国や地方、海外等、様々な現場から「日本」を良くしたい方、ぜひ財務局の門を叩いてみてください。



原 弘樹 [2006年採用]
HARA Hiroki

2016年	財務省国際局為替市場課資金管理室 課長補佐
2019年	スタンフォード大学客員研究員
2021年	金融庁総合政策局総合政策課 課長補佐
2022年	財務省大臣官房総合政策課 課長補佐兼経済動向調査官
2023年	現職

外務省在ニューヨーク日本国総領事館 領事

世界的な金融街から日本への投資を呼び込む！

私は今、世界的な金融街であるニューヨークに財務アタッシュとして派遣され、日本が世界の金融センター・資産運用ハブとなれるよう、当地の機関投資家やエコノミストと交流を持ちつつ、当地投資家向けのイベントを開催するなどの働きかけを行っています。

正直なところ、エイゴで異文化の勉強をしながらの仕事は苦労や壁もいっぱいです。例えば、日本に投資してほしいと思えば、日本の投資促進に向けた取組を説明できるだけでなく、日米の政治情勢や金融政策の動向なども知っておかなければ相手と会話になりません。知識不足に日々反省しながら前を向くしかないのです。

私は恥ずかしながら入社当初まで英語の大切さに思いも至らず、まして海外勤務をするなど考えもしませんでした。今では、世界から日本がどう見られているのか、日本がどの位置にいるのかを知った上で仕事をするのが大変重要なのだと気づかされました。

皆さんは海外勤務を遠い世界の話だと思われませんか？私は妻と8歳と1歳（渡米当時）の子を連れてきましたが、異国で新しいことに挑戦できることは、家族皆にとって類い希な成長の機会であり、それはきっと、皆さんの人生にとっても同じであろうと思います。

こんな職場で是非、一緒に働きませんか？



安積 尚史 [2009年採用]
AZUMI Hisashi

2020年	財務省理財局財政投融資総括課 課長補佐
2021年	財務省理財局総務課たばこ塩事業室 たばこ塩企画調整官
2022年	財務省理財局国有財産企画課 政府出資室 課長補佐
2023年	金融庁総合政策局総務課国際室 課長補佐
2024年	現職

内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局兼内閣府地方創生推進室 参事官補佐

地方創生、リスタート



坂本 晃 [2018年採用]
SAKAMOTO Koichi

2019年	財務省理財局総務課たばこ塩事業室
2020年	中国財務局総務部経済調査課 調査官
2021年	財務省国際局為替市場課 係長
2023年	留学(英・ノッティンガム大学)
2024年	現職

地方創生の取組が始まってから10年が経過しました。この間、様々な成果が一定程度みられたものの、人口減少や東京一極集中などの大きな流れを変えることはできておらず、その影響が全国各地で見られています。これまでの取組の成果と反省を踏まえ、今後どのような社会を目指していくべきなのか。この文章を読んでいる皆さんにも共鳴するものがあるのではないのでしょうか。

「新しい地方経済・生活環境創生本部事務局」はこれらの課題に正面から挑み、今後の日本のビジョンを描き出し、その実現を目指す組織です。私は広報担当として、地方創生に関する政府の取組を多くの方に知っていただき、国民的な議論の輪を広げていくために働いています。また、小規模自治体に各省庁や民間企業等の有する専門的な人材を派遣するため、両者のマッチング協議を支援する「地方創生人材支援制度」も担当しています。

内閣官房では官民の様々な分野から集結した職員がそれぞれの強みと経験を発揮して業務にあたっており、地方創生の推進には企画立案と執行の経験が共に必要であることを実感しています。財務局総合職の職員として築かれる幅広いキャリアと、「地域社会に貢献する」という我々のミッションが調和している所以ともいえると思います。

志ある皆さんと共に仕事ができることを楽しみにしています。

留学(米・コロンビア大学)

Broadening Perspectives: A Study Abroad Journey in MOF Life



田島 夏海 [2016年採用]
TAJIMA Natsumi

2020年	財務省国際局為替市場課 係長
2021年	財務省国際局地域協力課国際調整室 係長
2022年	財務省大臣官房信用機構課 課長補佐
2023年	現職

私は現在、米国ニューヨークのコロンビア大学で公共政策を学んでいます。入省してからこれまで、経済対策策定、地域経済調査、為替政策、地震保険制度設計など幅広い業務に携わってきました。しかし、留学生活では霞が関とは一味違った経験を積み、自分が公務を通じて実現したいことを再確認する貴重な機会を得ることができています。

大学院では、経済・財政分野にとどまらず、幅広い講義を通じて国家公務員としての視野を広げる研鑽を積んでいます。具体的には、日本の予算の大部分を占める社会福祉政策について、政治的・経済的・文化的観点から諸外国の制度と比較分析を行っています。また、実践的な研究やケーススタディを通じて、日本が先進国の中でも遅れを取っているとされる男女平等の実現に向けた政策立案手法も学んでいます。

さらに、授業内外で年齢、国籍、職務経験の異なる多様な学生と親睦を深めることも、留学生活の大きな魅力です。将来的に世界各国のパブリックセクターにおいて活躍する友人に出会えたことは、今後自分が国際的な舞台で仕事をする際に大きな財産になると思います。

財務省財務局では、地域に根差した業務のみならず、留学や海外勤務など国際的な仕事に携わる機会もあります。学生から社会人へと踏み出す第一歩、心躍るような大きな一歩にしてみませんか。